

もっと安心農産物 秋冬ニンジン栽培暦(令和5年)

J A富里市 人参部もっと安心生産グループ

1. 土づくり 前作作付け前に堆肥を施用する または 緑肥を作付けする
2. 施肥 (化学肥料由来の窒素分の上限 7.5 kg/10a)

作付前に土壌診断を行う

	肥料名	施肥量 (10a 当たり)	保証成分 (N-P-K) (%)
基肥	人参ペレット705	180kg以下	7-10-5 (有機態窒素 3.9)
	<土壌改良資材>土壌分析結果に応じて施用 ○使用予定資材 アヅミン石灰、苦土石灰、セルカ、畑のカルシウム、苦土重焼燐、BMようりん マルチサポート、硫マグ、土づくり12号、酵素・で・くさ〜る		

3. 防除・・・化学合成農薬の使用は 8カウント (成分×回数) まで

月/旬	管理作業	病害虫発生推移	薬剤名	希釈倍数・処理量	対象病害虫	備考 (耕種的防除の実施等)
7/上 中			①D-D (作付の10~15日前まで) または ネマトリンエース粒剤 (播種前)	15~20L/10a 15~20kg/10a (ネコ) 20kg/10a (ネグサレ)	ネグサレセンチュウ・ ネコセンチュウ	対センチュウ効果のある緑肥、輪作など代替技術を活用して薬剤消毒の回避を目指しましょう。
			②フォース粒剤 (作条：播種時) (全面：播種前)	4kg/10a(作条) 4~12kg/10a (全面)	ネキリムシ類	
7/下	施肥	センチュウ ネキリムシ	③クレマート U粒剤/乳剤 (播種後発芽前(雑草発生前)) または ゴーゴースン 細粒剤 F/乳剤 (播種後出芽前(雑草発生前))	(粒)4~6kg/10a (乳)200~400ml (100~150L) (粒)4~5kg/10a (乳)200~400ml(70~150L)	一年生雑草	しみ腐病の発生が多い圃場には作付けを避けましょう。 無理な早まきは避け、適期播種に努めましょう。
8/上	播種		④ベルクート水和剤/フロアブル (収穫 14日前まで)	(水和剤) 500~1000倍 (フロアブル) 1000倍	菌核病 黒葉枯病 菌核病、黒葉枯病、うどんこ病、斑点病	○黒葉枯病予防 葉の弱い品種は、早め(本葉5枚前後)から防除を開始しましょう。
8/下	中耕	キアゲハ・ハスモンヨトウ —— 黒葉枯病 ——	⑤アフーム乳剤 (収穫 前日まで)	2000倍	ハモグリバエ類	地際部安定後、中耕除草を実施しましょう。
9/上			⑥ポリオキシンAL水和剤 (化学合成農薬に含めない) (収穫7日前まで5回以内)	500倍	黒葉枯病	○葉面散布剤 メリット黄(根茎肥大促進) 500倍、3~5日おきに3回程度散布してください。 生長に合わせて、適量を散布しましょう。
9/中			⑦フェニックス顆粒水和剤 (収穫前日まで)	2000~4000倍	ヨウムシ	
9/下			⑧ストロビーフロアブル (収穫 7日前まで)	2000~3000倍	黒葉枯病 斑点病	
10月			⑨カスミンボルドー (収穫 14日前まで)	1000倍	黒葉枯病 軟腐病 斑点細菌病	※カスミンボルドー 愛紅は薬害に注意しましょう。
11月	収穫↓					

変更可能な農薬（裏面の記載農薬と変更して、認証基準(8カウント)を超えない範囲で使用可能)				
薬剤名	希釈倍数・処理量	使用回数	対象病害中	収穫前日数
ユニフォーム粒剤 ※2成分(2カウント)	9～18 kg/10a	1回	しみ腐病	は種前(全面土壌混和)
ディ・トラペックス油剤 ※2成分(2カウント)	30～40ℓ/10a 20～30ℓ/10a (センチュウ類)	1回	しみ腐病、黒しみ病、萎凋病、一年生雑草、センチュウ類	播種の21日前まで
バスアミド微粒剤	20～30kg/10a	1回	乾腐病、しみ腐病、一年生雑草、ネコブセンチュウ 他	播種の21日前まで
ダイアジノン粒剤5	6kg/10a	1回	ネキリムシ類	は種前
ネマキック粒剤	10～15 kg/10a	1回	ネグサレセンチュウ	は種前(全面土壌混和)
	15 kg/10a		ネコブセンチュウ	
ビーラム粒剤	20 kg/10a	1回	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	は種前(全面土壌混和)
カイトック細粒剤F ※2成分(2カウント)	3～5 kg/10a	1回	一年生雑草	は種直後(雑草発生前)
カイトック乳剤 ※2成分(2カウント)	300～500ml /10a	1回	一年生雑草	は種直後(雑草発生前)
ロロックス	100～150g/10a (全面土壌散布)	1回	一年生雑草	にんじん 3～5 葉期但し、 収穫30日前まで(雑草発生始期)
ワンクロス WG ※2成分(2カウント) ※ロロックスの成分含む、回数注意	200～250g /10a	1回	一年生雑草	3～5 葉期(雑草生育期)但し、 収穫30日まで
ナブ乳剤	150～200ml /10a	1回	一年生イネ科雑草	雑草生育期イネ科 3～5 葉期但し、 収穫14日前まで
アミスターオプティフロアブル ※2成分(2カウント) ※ダコニール 1000 の成分含む、回数注意	1000 倍	2回	黒葉枯病 菌核病、斑点病 うどんこ病 しみ腐病	収穫21日前まで
ダコニール1000	1000 倍	5回	黒葉枯病	収穫7日前まで
アフェットフロアブル	2000 倍	3回	黒葉枯病	収穫7日前まで
シグナムWDG ※2成分(2カウント) カンタスの成分含む 回数注意	2000 倍	2回	うどんこ病 黒葉枯病 斑点病	収穫14日前まで
カンタスドライフロアブル	1000～1500 倍	3回	黒葉枯病 斑点病	収穫14日前まで
ファンタジスタ顆粒水和剤	3000 倍	3回	うどんこ病、菌核病、 黒葉枯病、斑点病	収穫3日前まで
ロブラール水和剤	1000～1500 倍	4回	黒葉枯病 斑点病	収穫14日前まで

ジマンダイセン水和剤	400～600 倍	3 回	黒葉枯病	収穫 7 日前まで
スミレックス水和剤	1500 倍	1 回	菌核病	収穫 30 日前まで
スターナ水和剤	1000 倍	3 回	軟腐病 斑点細菌病	収穫 7 日前まで
アクセルフロアブル	1000 倍	3 回	ハスモンヨトウ・ヒョウタンゾウムシ類	収穫前日まで
ガードベイト A	3kg/10a (株元散布)	5 回	ネキリムシ類	生育初期、但し収穫 7 日前まで
スタークル顆粒水溶剤	2000 倍	2 回	アブラムシ類	収穫 7 日前まで
マラソン乳剤	2000～3000 倍	4 回	アブラムシ類、キアゲハ、ヤサイゾウムシ	収穫 14 日前まで
モスピラン顆粒水溶剤	4000 倍	3 回	アブラムシ類、キアゲハ	収穫前日まで
ランネート45DF	1000 倍	2 回	ハスモンヨトウ、ヨトウムシ、アブラムシ類	収穫前日まで
コテツフロアブル	2000 倍	2 回	ヨトウムシ、ヒョウタンゾウムシ類、キアゲハ	収穫前日まで
プレオフロアブル	1000 倍	2 回	ハスモンヨトウ	収穫前日まで
カスケード乳剤	4000 倍	2 回	ヨトウムシ	収穫 3 日前まで
アドマイヤー顆粒水和剤	1 万倍	2 回	アブラムシ類	収穫 3 日前まで
(ちばエコで化学合成農薬にカウントしない薬剤)				
ゼンターリ顆粒水和剤	1000～2000 倍	—	ヨトウムシ、コナガ、アオムシ	発生初期、但し収穫前日まで
スピノエース顆粒水和剤	5000 倍	3 回	ハモグリバエ類	収穫 3 日前まで
ポリオキシシンAL水和剤	500 倍	5 回	黒葉枯病	収穫 7 日前まで
Zボルドー	500～800 倍	—	黒葉枯病	—

★使用する前に必ず農薬ラベルで使用基準・注意事項を確認してください★